プログラム

１．開会式

８月 20 日（土）　9:00～9:30

開会の辞（日本薬学教育学会理事長）

挨拶（第 7 回日本薬学教育学会大会大会長、文部科学省、厚生労働省）

２．基調講演

８月 20 日（土）　9:30～10:30

「北里柴三郎の教育が今に伝えること」

講師：檀原　宏文（北里大学名誉教授）

座長：岡田　信彦（第７回日本薬学教育学会大会大会長）

３．特別講演

８月 21 日（日）　9:30～10:30

「やわらかな 1.5 人称 ～医療者と患者のより良いコミュニケーションを目指して」

講師：中野　重行（大分大学名誉教授）

座長：乾　賢一（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

４．日本薬学教育学会奨励賞受賞講演

８月 20 日（土）　11:00～13:00

座長：乾　賢一（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

教育研究奨励賞

「メタ認知的アプローチに基づいた臨床実習の学修効果向上および薬学生のプロフェッショナリズム醸成に関する研究」

鈴木　小夜（慶應義塾大学薬学部）

「大規模災害を想定した統合型災害医療教育が災害時のイメージと災害時自己効力感に及ぼす影響」

永田　実沙（和歌山県立医科大学薬学部）

「薬学卒業研究で醸成される研究能力の到達度評価に基づいた教授・学修活動改善への取り組み」

中谷　絵理子（帝京大学薬学部）

教育実践奨励賞

「在宅医療で活躍できる薬剤師の教育プログラムの構築と実践」

今西　孝至（京都薬科大学）

５．シンポジウム

特別企画シンポジウム　　8月21日（日）　14:30～16:30

「薬学人のアイデンティティを支える研究倫理」

オーガナイザー：入江　徹美（熊本大学大学院）、有田　悦子（北里大学薬学部）

特 S-1　学会誌「薬学教育」編集者からの問題提起
― 薬学教育研究における倫理的配慮を考える ―
入江　徹美（熊本大学大学院）

特 S-2　研究の倫理的問題を自ら考える
堂囿　俊彦（静岡大学）

特 S-3　望ましい研究のあり方
田中　智之（京都薬科大学）

特 S-4　実践報告：北里大学薬学部における研究倫理教育
― 研究事例を題材とした参加型学習 ―
有田　悦子（北里大学薬学部）

特 S-5　実践報告：北里研究所病院研究倫理委員会における対応
― 指針対象外の倫理審査 ―
氏原　淳（北里大学北里研究所病院）

シンポジウム１　　8月20日（土）　11:00～12:30

「多職種連携教育の充実に向けて：連携のために「ゆる～く」連携する」

オーガナイザー：石川　さと子（慶應義塾大学薬学部）、野呂瀬　崇彦（帝京大学薬学部）

S01-1　多職種連携教育をいかに進めていくか？
― コンピテンシー基盤型教育とブリコラージュ ―
春田　淳志（慶應義塾大学医学部）

S01-2　医療から福祉まで羽を広げたＩＰＥへ
藤井　博之（長野大学社会福祉学部）

S01-3　ＩＰＥで広がる世界
― 知らなかったことを知る楽しみ ―
石川　さと子（慶應義塾大学薬学部）

S01-4　「ゆるさ」がもたらす気づきとつながり
―“ねばならない！”は置いといて ―
野呂瀬　崇彦（帝京大学薬学部）

シンポジウム２　　8月20日（土）　11:00～12:30

「有害事象報告＋地域連携の教育実践により社会に評価される薬剤師を目指す」

オーガナイザー：飯塚　敏美（望星築地薬局）

S02-1　薬剤師の養成及び資質向上に資する教育
―「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会 とりまとめ」を踏まえて ―
永井　智美（厚生労働省　医薬・生活衛生局総務課）

S02-2　薬剤師と製薬企業の関わり
― 将来に繋げる医薬品の有害事象報告 ―
大田　朋宏（MSD 株式会社）

S02-3　患者を守り公衆衛生の向上に寄与する我々の MISSION とは
― 有害事象報告とその教育におけるシナジー効果 ―
鈴木　優司（東海大学医学部付属病院薬剤部）

S02-4　実習生教育の実践で社会に評価される薬剤師を目指す
飯塚　敏美（望星築地薬局）

シンポジウム３　8 月 20 日（土）　11:00～12:30

「薬学部における若手教員の研究・教育活動の現状」

オーガナイザー：長光　亨（北里大学薬学部）

S03-1　卒業研究を通して学べること、活かせること
李　大葵（北里大学薬学部）

S03-2　研究・教育活動に向き合う姿勢
亀井　智代（城西国際大学薬学部）

S03-3　薬学部若手教員の研究・教育活動に加えてワークライフマネジメントについても考える
酒井　隆全（名城大学薬学部）

S03-4　実務系教員の目から見た薬学基礎教育
― 今の薬学生を見ていて、感じたこと ―
島﨑　学（帝京平成大学薬学部）

シンポジウム４　8 月 20 日（土）　14:00～16:00

「薬学部学生における研究志向のマインドセット醸成を目指して」

オーガナイザー：前田　和哉（北里大学薬学部）

S04-1　6 年制にふさわしい研究ってなに？
― 有機化学の立場から ―
高橋　秀依（東京理科大学薬学部）

S04-2　6 年制課程薬学部生の研究活動について
― 医療系総合大学薬学部教員としての一考察 ―
永井　純也（大阪医科薬科大学）

S04-3　臨床的課題解決を目指した研究を行う次世代リーダーの養成
― 持続可能な研究活動を行うため ―
河添　仁（慶應義塾大学薬学部）

S04-4　ファーマシスト・サイエンティストの養成
― 大阪大学薬学部の取り組み ―
有澤　光弘（大阪大学大学院薬学研究科）

シンポジウム５　8月 20 日（土）　14:00～16:00

「イマジネーションベースドファーマシーを目指す薬学人のための教育 ―社会との接点をもたらす患者の存在―」

オーガナイザー：岩堀　禎廣(合同会社エビデンスマーケティング/日本薬科大学)、平井　みどり（一般社団法人健ママ協会/神戸大学)、鈴木　信行（患医ねっと）

S05-1　薬学教育における学習者参加
― 薬学生の立場から ―
石田　茂花（みらい女子プロジェクト）

S05-2　イマジネーションベースドファーマシーを目指す薬学人のための教育への期待
― 患者の視点から ―
鈴木　信行（患医ねっと）

S05-3　薬学教育における患者参加の意味
― 臨床と教育の両方に関わった経験から ―
平井　みどり（一般社団法人健ママ協会/神戸大学）

S05-4　「アイデンティティ」と「自己実現」と「患者参加」と「想像力」
― 患者参加型医療を推進する立場から ―
岩堀　禎廣（合同会社エビデンスマーケティング/日本薬科大学）

シンポジウム６　8月 20 日（土）　14:00～16:00

「実践的な薬剤師の育成に向けた卒後教育（臨床研修）の新展開」

オーガナイザー：木内　祐二（昭和大学医学部)、高橋　一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）

S06-1　地域における実践的な薬剤師の育成に向けて
― 東京都薬剤師会生涯研修プログラムの構築 ―
宮川　昌和（東京都薬剤師会）

S06-2　地域完結型医療の実現に向けて
～ 進化する薬剤師連携とそれを支える薬剤師の育成 ～
室井　延之（神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部）

S06-3　卒前・卒後の一貫した医師教育の現状、課題、対策
― アウトカム基盤型教育からの視点 ―
三原　弘（富山大学医師キャリアパス創造センター）

S06-4　次世代の保健医療福祉専門職を育成する卒後教育のデザイン
― 専門職間教育（IPE）の視座からの提案 ―
下井　俊典（国際医療福祉大学福岡保健医療学部）

シンポジウム７　　８月 20 日（土）　14:00～16:00

「社会の荒波を生き抜くために求められる薬学教育 ―現場から薬学部に向けた熱い声―」

オーガナイザー：廣川　重男（株式会社京都廣川書店）、山内　理恵（星薬科大学）

S07-1　薬学部出身でない製薬メーカーの研究者から見た薬学教育と将来への期待
　　川上　雅之（キッズウェル・バイオ株式会社）

S07-2　チームから見た病院薬剤師の働き方改革
― 現場で働くチームメンバーになろう ―
　　阿部　恒平（聖路加国際病院）

S07-3　地域の実態を目の当たりにした薬剤師の視点から
― 大学に期待するこれからの薬学生教育 ―
　　樋口　敬史（株式会社ゆうホールディングス）
　　志摩　大介（株式会社ゆうホールディングス）

S07-4　“大学独自の教育”はどのような人材を輩出できるか
　　須野　学（和歌山県立医科大学薬学部）

シンポジウム８　　８月 21 日（日）　11:00～13:00

「現場の IT 化・デジタル化を踏まえて、薬学での ICT リテラシー教育はどうあるべきか？」

オーガナイザー：富澤　崇（株式会社ツールポックス/北里大学）

S08-1　医療現場におけるデジタル化・ICT 化の現状と未来
　　堂前　紀郎（株式会社 MG-DX）

S08-2　薬学教育モデル・コアカリキュラム改定におけるデジタルトランスフォーメーション（B：社会と薬学における位置づけ）
　　近藤　悠希（熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系））

S08-3　シラバスから見える？ 薬学における ICT 教育の現状
　　土井　信幸（高崎健康福祉大学薬学部）

S08-4　現場が期待するカリキュラム像
　　富澤　崇（株式会社ツールポックス/北里大学）

シンポジウム９　　８月 21 日（日）　11:00～13:00

「社会から眺めた薬学教育 ～次世代の人材育成に何が必要なのか～」

オーガナイザー：亀井　美和子（帝京平成大学薬学部）、中村　明弘（昭和大学薬学部）

S09-1　薬剤師の育成に必要とされること
― 患者の立場から―
　　山口　育子（認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML）

S09-2　薬学から少し離れて薬学を眺めてみる
― 医療人類学という視点から ―
　　菊地　真実（帝京平成大学薬学部）

S09-3　社会すなわち様々な人々のための薬学教育とは
― 異分野・異業種から薬学教育に参入した教員の視点から ―
櫻井　秀彦（北海道科学大学）

S09-4　「企てる」を育み、社会を動かす
― ６年制卒薬剤師の実践より ―
日髙　玲於（株式会社フロンティアファーマシー）

シンポジウム 10　８月 21 日（日）　11:00～13:00

「危機対応能力の醸成を目指した薬学教育の在り方を考える」

オーガナイザー：永田　泰造（東京都薬剤師会）、伊東　明彦（帝京平成大学薬学部）

S10-1　災害時に活動できる薬剤師（リーダー）の養成教育を考える
貞松　直喜（東京都薬剤師会/株式会社メディセオ）

S10-2　大学病院での危機管理能力の醸成と教育・研修を考える
篠原　高雄（杏林大学医学部附属病院薬剤部/東京都薬剤師会）

S10-3　医療過疎地等での地域医療を担える薬剤師の養成教育を考える
伊東　明彦（帝京平成大学薬学部）

S10-4　２か月半の薬局実務実習で危機対応能力の醸成を目指すには
田極　淳一（東京都薬剤師会）

シンポジウム 11　８月 21 日（日）　11:00～13:00

「薬学教育における大学教員間の連携体制の構築 ―FD が果たす役割―」

オーガナイザー：小佐野　博史（帝京大学名誉教授）、奥脇　暢（北里大学薬学部）

S11-1　「FD はだれのためにあるのか」
― カリキュラム改訂における重要なシステムとして ―
小佐野　博史（帝京大学名誉教授）

S11-2　全学部規模、医療系三学部合同および薬学部の FD について
― 各 FD の取組みと薬剤師生涯研修プログラムでの試み ―
山浦　克典（慶應義塾大学薬学部）

S11-3　FD と IR の協働的な関係の構築を目指す
― 新しい学部で目指す FD・IR が日常的にある教育 ―
安原　智久（和歌山県立医科大学薬学部）

S11-4　医学部における教員研修（FD）の現状
― 医学教育の質向上を目的とした教員の協力能力開発―
奈良　信雄（日本医学教育評価機構）

シンポジウム 12　　8 月 21 日（日）　14:30～16:30

「薬剤師の資質向上に向けて －卒前教育と卒後研修のポジショニングー」

オーガナイザー：尾鳥　勝也（北里大学薬学部/北里大学病院）、木村　利美（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

S12-1　薬剤師の卒後研修の方向性
― 薬剤師の卒後研修カリキュラムの調査研究を踏まえて ―
山田　清文（名古屋大学医学部附属病院薬剤部）

S12-2　薬局薬剤師の立場から卒後研修を考える
― 薬剤師のスタートは病棟研修から ―
宮﨑　長一郎(有限会社宮﨑薬局)

S12-3　卒前教育から卒後研修へ
― シームレスな卒前・卒後の臨床薬剤師育成プログラム構築に向けて ―
中村　明弘（昭和大学薬学部）

S12-4　日米の薬学教育・薬剤師教育の違いを理解する重要性
― 教育・臨床両方での経験から見えてきたこと ―
岩澤　真紀子（北里大学薬学部）

シンポジウム 13　　8 月 21 日（日）　14:30～16:00

「学生のアイデンティティ発達に大学はどこまで関われるのか －学生支援の観点からー」

オーガナイザー：内田　尚宏（北里大学健康管理センター・白金キャンパス学生相談室）

S13-1　アイデンティティーとは何か
苫米地　憲昭（東京カウンセリングセンター）

S13-2　学生相談の中で大切にしていること
― 他の臨床現場と比較して ―
渡辺　由紀（北里大学・白金キャンパス学生相談室）

S13-3　薬学部における学生相談
― 二足の草鞋を履く悩み ―
吉永　真理（昭和薬科大学）

６．ワークショップ

ワークショップ１

８月 20 日（土）　10:30～13:00

「改訂モデル・コアカリキュラムで求められる臨床教育を実践しよう！～実務実習生に何をどう伝えるかを考える～」

オーガナイザー：段林　正明（大阪府済生会野江病院薬剤科）
津田　真弘（京都大学大学院薬学研究科）
タスクフォース：岩内　大佑（洛和会音羽病院薬剤部）
馬橋　美由季（京都桂病院薬剤科）
角山　香織（大阪医科薬科大学）
塩田　有史（愛知医科大学病院感染制御部/薬剤部）
高橋　一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）
松本　乃里子（愛知医科大学病院薬剤部）

ワークショップ２

８月 20 日（土）　14:00～16:30

「未病予防と入院・外来薬物療法を繋げる教育用シナリオの作成～ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新たな医療に対応できる薬剤師の育成～」

オーガナイザー：久保田　洋子（千葉科学大学薬学部）
関根　祐子（千葉大学大学院医学薬学府実務薬学研究室）
タスクフォース：三浦　裕也（国際医療福祉大学薬学部）
多根井　重晴（日本薬科大学）
松下　綾（ウエルシア薬局株式会社）
笠原　正幸（千葉大学大学院医学研究院）
花井　雄貴（東邦大学薬学部）
篠原　久仁子（株式会社フローラ、株式会社恵比寿ファーマシー）
中尾　豊（株式会社カケハシ）

ワークショップ３

８月 20 日（土）　14:00～16:30

「倫理的感受性を育む方法を考えよう！～実務実習における体験談の引き出し方」

オーガナイザー：田村　豊（福山大学薬学部）
石川　さと子（慶應義塾大学薬学部）
中田　亜希子（東邦大学医学部）
タスクフォース：有田　悦子（北里大学薬学部）
亀井　美和子（帝京平成大学薬学部）
竹平　理恵子（北里大学薬学部）
高橋　瑞穂（東邦大学薬学部）

ワークショップ４

８月 21 日（日）　10:30～13:00

「ライフイベントにとらわれず就業継続するためのタスクの棚卸と整理方法を身に付けよう」

オーガナイザー：永田　実沙　（和歌山県立医科大学薬学部）
青江　麻衣　（大阪大谷大学薬学部）
タスクフォース：三好　怜子（株式会社ノヴィータ）
今西　江里（大阪大谷大学薬学部）
浦嶋　庸子（大阪大谷大学薬学部）
矢原　恵美（兵庫医科大学薬学部）

ワークショップ５

８月 21 日（日）　14:00～16:30

「ICT を用いた教育ツール　ハンズオンワークショップ」

オーガナイザー：村岡　千種（北海道科学大学薬学部）
タスクフォース：木下　淳（兵庫医科大学薬学部）
酒井　隆全（名城大学薬学部）
竹平　理恵子（北里大学薬学部）
椎橋　美智男（埼玉医科大学）
淺田　義和（自治医科大学）

ワークショップ６

８月 21 日（日）　14:00～16:30

「地域医療の未来を変える “薬学生へのプレコンセプションケア教育”の実現へ～当事者世代のワンストップセンター機能を担える薬剤師人材養成を～」

オーガナイザー：宮原　富士子
（特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women /ケイ薬局）
井手口　直子（帝京平成大学薬学部）
タスクフォース：荒田　尚子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科）
樋口　毅（弘前大学大学院保健学研究科看護学領域）
西村　亜佐子（同志社女子大学薬学部）
中村　由喜（TAYA 研究会/あおぞら薬局富士見店）
鈴木　怜那（OGP 薬局荒川店）
若林　由香子（特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women）
小佐野　博史（帝京大学名誉教授）
串田　一樹（昭和薬科大学）

7．一般演題（口頭発表）

・ 一般演題のスライドは、マイページより閲覧可能です。
　　閲覧期間：８月１日（月）10:30　～　８月 21 日（日）18:00
・ 一般演題の発表時間は、以下となります。
　　一般演題（口頭発表）①　８月 20 日（土）13:00～14:00
　　一般演題（口頭発表）②　８月 20 日（土）16:30～18:00
　　一般演題（口頭発表）③　８月 21 日（日）13:00～14:00
・ 発表は、ブレイクアウトルームで行います。各 Room の発表順は、演題番号の早い方から順番で実施します。タイムスケジュールをご参照ください。
・ 学生発表は、一般演題（口頭発表）②にて行います。演題番号に S が付いています。学生発表については、大会審査員による審査を行い、優勝発表賞を８月 21 日（日）の閉会式にて大会長より発表致します。

一般演題（口頭発表）①

＜発表日時＞　８月 20 日（土）　13:00～14:00
＜タイムスケジュール＞　１番目　13:00～13:15　　２番目　13:15～13:30
　　３番目　13:30～13:45　　４番目　13:45～14:00

基礎系専門教育　　Z 会場　Room1

座長：西口　工司（京都薬科大学）

Z001　**１年次生前期開講「薬学化学入門」にて実践したグループ学習の内容と結果 ～能動的な学習意欲の向上をめざして～**
○刀根　菜七子[1]、石川　さと子[2]、三島　健一[1]、冨田　陵子[1]、藤岡　稔大[1]
[1]福岡大学・薬学部、[2]慶應義塾大学・薬学部

Z002　**２年次生前期科目「生化学Ⅲ」で実施した、授業開講前後における授業項目認知度・理解度アンケートの解析とその活用**
○倉島　由紀子[1]
[1]北陸大学薬・薬学教育研究センター

Z003　**油脂の変質試験に着目した実験実習教材の開発**
○髙田　哲也[1]、徳山　友紀[1]、金瀬　薫[1]、髙尾　郁子[1]、河野　享子[1]、平山　恵津子[1]、木村　徹[1]、藤原　洋一[1]
[1]京都薬科大学 学生実習支援センター

Z004　**グループディスカッション（ジクソー法）を用いた医薬品化学演習の授業デザイン ―“くすりのかたちを見て考えることが楽しい”を引き出すために―**
○田嶋　公人[1]、中村　洋[2]、亀井　智代[3]
[1]城西国際大薬・薬理学、[2]城西国際大薬・薬化学、[3]城西国際大薬・生物有機化学

ヒューマニティ教育①　　Z 会場　Room2

座長：入江　徹美（熊本大学大学院）

Z005　薬用植物園を利用した教育 —薬用植物園学生ガイドの育成—

○西山　由美[1]、竹仲　由希子[1]、小林　典裕[1]

[1]神戸薬科大学

Z006　態度教育の目標と評価について考える —到達目標、向上目標、参加目標の設定と態度評価のための学生間相互評価—

○藤井　幹雄[1]、紺野　奇重[1]、中谷　善彦[1]、山中　将敬[1]、松浦　能行[1]、八木　秀樹[1]

[1]国際医福大薬

Z007　学部連携グループ学修による在宅医療における学生の倫理的価値観の涵養

○加藤　里奈[1]、田中　佐知子[1]、佐口　健一[2]、小倉　浩[3]、三橋　幸聖[2]、剣持　幸代[3]、石川　健太郎[4]、木内　祐二[5]、榎田　めぐみ[2]

[1]昭和大薬・教育実践学、[2]昭和大保健医療、[3]昭和大富士吉田教育、[4]昭和大歯、[5]昭和大医

Z008　薬学生の死生観醸成を目的とした新規プログラムの構築と評価

○相良　篤信[1]、鳥越　一宏[2]、白水　俊介[2]、畦地　拓哉[3]、伊藤　由香里[4]、島内　明文[5]、湯本　哲郎[1]

[1]星薬科大学・薬剤師職能開発研究部門、[2]星薬科大学・実務教育研究部門、[3]順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、[4]オダファーマシー品川八潮薬局、[5]星薬科大学・哲学研究室

ICT 教育①　　Z 会場　Room3

座長：長谷川　洋一（名城大学薬学部）

Z009　スマートフォンアプリを用いた生物系科目の問題集作成

○武本　眞清[1]、大畠　京子[1]、木藤　聡一[1]、齋藤　大明[1]、倉島　由紀子[1]、畑　友佳子[1]、池田　ゆかり[1]、山田　豊[1]、高橋　達雄[1]、内手　昇[1]

[1]北陸大・薬

Z010　学業成績不振学生を対象とした教育と実践（第 13 報） —ICT を活用し基礎知識の補強を目指した学習支援プログラムの開発と教育実践—

○飯田　耕太郎[1]

[1]名城大学薬・薬学教育開発センター

Z011　スクラッチカード機能を備えた新規 web テストシステムの開発とその効果検証

○木藤　聡一[1]、藤澤　卓也[2]、三好　幸司[2]、武本　眞清[1]、池田　ゆかり[1]、池田　啓一[1]、木村　敏行[1]、宇佐見　則行[1]、杉山　朋美[1]、佐藤　安訓[1]、畑　友佳子[1]、佐藤　友紀[1]、高橋　達雄[1]

[1]北陸大薬、[2]株式会社三好製作所

Z012　**オンライン試験における Safe Exam Browser の活用**

○野中　孝昌[1]

[1]岩手医科大学・薬学部

臨床系専門教育①/事前実習・実務実習①　Z 会場　Room4

座長：奥田　真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

Z013　**救命救急センター見学実習における映像教材の導入の効果**

○亀井　大輔[1]、吉川　桂加[1]、小池　夏穂[1]、山本　仁美[1]、小林　文[1]、加藤　里奈[1]、田中　佐知子[1]

[1]昭和大学薬学部・教育実践学

Z014　**ワクチン関連業務に対する新規実習導入の取組み**

○岡村　央[1]、向井　潤一[1]、山田　路子[1]、吉野　裕梨佳[1]、久保田　理恵[1]

[1]北里大学薬学部　臨床薬学教育部門

Z015　**シミュレータを用いたワクチン接種のための筋肉注射実習の導入とその効果**

○堀尾　福子[1]、池田　徳典[1]、石黒　貴子[1]、瀬尾　量[1,2]、内田　友二[1]

[1]崇城大学・薬学部、[2]株式会社ハートフェルト

Z016　**北里大学薬学部におけるフィジカルアセスメント実習**

○小林　義和[1]、朝倉　崇徳[1]、鈴木　雄介[1]

[1]北里大学薬学部　臨床薬学研究・教育センター　臨床医学大講座　生体制御学

教育評価①　Z 会場　Room5

座長：武田　香陽子（北海道科学大学薬学部）

Z017　**薬学と有機化学における専門用語の発音を含む学習指導が学生にもたらす効果の調査**

○信田　智哉[1,2]、峯野　知子[1]、須藤　豊[1]、渡辺　和樹[1,2]、山際　教之[1,2]

[1]高崎健康福祉大学薬、[2]同薬学学修支援センター

Z018　**新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―作成したルーブリック形式の自己評価シートの再検討―**

○中尾　幸代[1,2]、村田　明子[1,3]、松田　裕子[1]、南　恵理子[1,4]、山中　智香[1,5]、沼田　千賀子[1]

[1]神戸薬科大学 総合教育研究センター、[2]薬局エビラファーマシー、[3]偕生病院、[4]きららみらい薬局、[5]ウィズ・グロー

Z019　**成績下位者を対象とした個別面談が成績に与える効果についての検証**

○橋本　怜史[1]、西丸　宏[1]、八巻　史子[1]、加瀬　義夫[1]

[1]武蔵野大学薬・薬学キャリア教育研究センター

Z020　基礎的内容を扱う化学実習が薬学生のエンゲージメントに与える影響

○福留　誠[1]、日置　和人[1]

[1]神戸学院大学薬・教育推進

卒後教育①　Z 会場　Room6

座長：久保田　理恵（北里大学薬学部）

Z021　日本医科大学付属病院における薬剤師レジデント教育とその課題

○福島　与詩香[1]、吉川　聡美[1]、輪湖　哲也[1]、林　太祐[1]、伊勢　雄也[1]

[1]日本医科大学付属病院薬剤部

Z022　薬剤師レジデント研修への地域連携カリキュラム導入効果の検証

○薩摩　由香里[1]、三木　博史[2]、山本　晴菜[1]、藤田　和美[1]、藤井　尚子[1]、木下　恵[1]、山岡　健太[1]、高瀬　友貴[1]、池末　裕明[1]、橋田　亨[1]、室井　延之[1]

[1]神戸市立医療センター中央市民病院　薬剤部、[2]株式会社すまいる　かもめ薬局

Z023　キルギス共和国における薬剤師育成プロジェクト —現役薬剤師継続研修について—

○鈴木　良風[1]、中島　大理[1]、巻嶋　孝明[1]、松野　良智[1]、村上　理[1]、穂坂　邦大[1]、井上　洋一[2]、木暮　喜久子[1]

[1]学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール、[2]株式会社日本開発サービス

Z024　神戸薬科大学生涯研修 e-learning 講座受講者を対象としたアンケート調査 —2020 年度および 2021 年度の比較分析—

○鎌尾　まや[1]、小山　豊[1]、長谷川　潤[1]、北川　裕之[1]

[1]神戸薬科大学

一般演題（口頭発表）②

＜発表日時＞　8月20日（土）　16:30～18:00
＜タイムスケジュール＞　1番目　16:30～16:45　2番目　16:45～17:00
3番目　17:00～17:15　4番目　17:15～17:30
5番目　17:30～17:45　6番目　17:45～18:00

学生発表①（事前実習・実務実習/ヒューマニティ教育/その他）　Z会場　Room1

座長：中村　明弘（昭和大学薬学部）

Z025S　薬局実務実習における一般性自己効力感の向上に関与する経験

○千代田　果歩[1]、山田　路子[1]、今井　良紀[2]、向井　潤一[1]、吉野　裕梨佳[1]、岡村　央[1]、久保田　理恵[1]、河野　和宏[2]、小川　護[2]
[1]北里大学薬学部・臨床薬学教育部門、[2]相薬薬局グループ

Z026S　COVID-19パンデミック下での実務実習は薬局実務実習生のプロフェッショナリズムに影響をもたらしたのか

○松野　昂樹[1]、鈴木　小夜[1]、牧山　大輝[1]、地引　綾[1]、横山　雄太[1]、河添　仁[1]、中村　智徳[1]
[1]慶應義塾大学薬・医療薬学・社会連携センター　医療薬学部門

Z027S　病院薬剤師の成長プロセス解明のための量的・質的研究 －プロフェッショナリズムとの関連性－

○竹安　葵[1,2]、田中　佐知子[1]、小林　如乃[3]、加藤　里奈[1]、山本　仁美[1]、小林　文[1]、北原　加奈之[2]、百　賢二[2]、佐々木　忠徳[2]
[1]昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門、[2]昭和大学薬学部病院薬剤学講座、[3]昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座

Z028S　「屋根瓦方式教育」による病や患者に対する差別・偏見に関する倫理教育の実践

○齊藤　慶介[1]、横田　恵理子[1]
[1]慶應大・薬

Z029S　「屋根瓦方式教育」による倫理教育の実践 ―ＡＣＰについての学習を通じて―

○日野　慎一郎[1]、横田　惠理子[1]
[1]慶應大学・薬

Z030S　将来の薬剤師がプライマリケアを行うための薬育教育 ―薬学生による中学校保健体育の授業での薬育の実施―

○原田　美那[1]、伊東　育己[1]、小原　道子[1]、菊地　真実[1]
[1]帝京平成大学・薬学部

学生発表②（ヒューマニティ教育/臨床系教育/ICT 教育/その他）　Z 会場　Room2

座長：西口　工司（京都薬科大学）

Z031S　倫理・コミュニケーションに係るルーブリック評価表を用いた薬学生の自己評価 －学年横断的な解析－

○佐藤　里奈[1]、井上　賀絵[1]、横田　惠理子[1]、漆原　尚巳[1]、石川　さと子[1]

[1]慶應義塾大学薬学部

Z032S　薬学生の情報倫理観を醸成する学習プログラムの構築

○重田　結里[1]、濱田　玲奈[1]、石川　さと子[1]

[1]慶應義塾大学薬学部

Z033S　Virtual Reality(VR)技術の薬学教育への応用

○時田　将真[1]、酒井　隆全[1]、牛田　誠[2]、田辺　公一[1]、大津　史子[1]

[1]名城大薬・医薬品情報学、[2]名城大薬・実践薬学Ⅱ

Z034S　演習課題の提出時刻から見た学生の学習スタイルと成績との関係

○竹本　夏穂[1]、宮崎　誠[1]、倉田　里穂[1]、長谷井　友尋[1]、佐藤　卓史[1]、井上　晴嗣[1]、大桃　善朗[1]

[1]大阪医科薬科大学・薬学部・薬学教育研究センター

Z035S　東京薬科大学と武田薬品との協定に基づく地域医療の課題への取組み講義を経験して

○横田　紗也[1]、加藤　凌雅[1]、益山　光一[1]

[1]東京薬科大学薬・薬事関係法規研究室

初年次教育　Z 会場　Room3

座長：安原　智久（和歌山県立医科大学薬学部）

Z036　薬学部 1 年生を対象にした『話す-聞く』プログラム実践からの考察

○内田　尚宏[1]、有田　悦子[2]、竹平　理恵子[2]

[1]北里大学健康管理センター、[2]北里大学薬学部

Z037　薬学準備 5 科目の統合における教育効果の検討

○齋藤　博[1]、田端　健治[1]、和田　重雄[1]、佐藤　卓美[1]、安田　高明[1]

[1]日本薬科大学薬

Z038　初年次学修ポートフォリオの導入と検証 ―学生の自律的学修習慣の確立に向けて―

○兒玉　安史[1]、南　英輝[1]、山口　雅史[1]

[1]広島国際大学薬学部

Z039　全国統一プレイスメントテストの成績分析から読む今後の教育手法の提案 ～成績上位者と成績下位者で差がついた問題の考察～

○松原　祐太[1]、田島　豊[1]、浦谷　智子[1]、茂木　雄輔[1]、村上　理[1]、木暮　喜久子[1]

[1]学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール

Z040　不自由体験がもたらす学生の合意形成に関するイメージの変化 —テキストマイニングによるレポートの前後比較—

○永田　実沙[1]、安原　智久[1]
[1]和歌山県立医科大学薬学部

Z041　ハンディキャップ体験の教育効果の解析

○渡部　俊彦[1]、伊藤　邦郎[1]、町田　浩一[1]
[1]東北医科薬科大学・薬学教育センター

ICT 教育②/共用試験・国家試験　Z 会場　Room4

座長：奥田　真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

Z042　北海道科学大学薬学部における新入生学内オリエンテーションの実践 —QR コードで収集したデータの解析とその応用可能性の検討—

○村岡　千種[1]、坪和　幸司[1]
[1]北海道科学大学薬学部

Z043　実務実習直前のアクティブラーニング授業欠席者対応として行ったオンライン授業を併用したハイブリッド授業についての報告

○菊地　真実[1]、吉田　貴行[1]、原田　美那[1]
[1]帝京平成大学薬学部

Z044　福岡大学薬学部における対面およびオンライン講義の学生アンケート調査に対する成績別解析

○鮎川　洋[1]、今任　拓也[1]、三島　健一[1]、松末　公彦[1]、右田　啓介[1]、藤岡　捻大[1]
[1]福岡大学薬学部

Z045　薬学部 1−3 年生を対象とした「薬剤師国家試験体験会」による学習意欲の向上効果

○井上　信宏[1]、許　将[1]、山内　理恵[1]、大野　修司[1]、久保　元[1]、浅井　和範[1]
[1]星薬科大学　薬学教育研究部門

Z046　薬学共用試験 CBT —2021 年度結果について

○石川　さと子[1,2]、伊藤　智夫[1]、中村　明弘[1,3]、増野　匡彦[1]、石塚　忠男[1,4]、松野　純男[1,5]、前田　定秋[1,6]、小澤　孝一郎[1,7]、出口　芳春[1,8]、三田　智文[1,9]、飯島　史朗[1,10]、宮崎　智[1,11]、矢ノ下　良平[1,12]、奥　直人[1,8]
[1]薬学共用試験セ、[2]慶應大薬、[3]昭和大薬、[4]熊本大薬、[5]近畿大薬、[6]摂南大薬、[7]広島大薬、[8]帝京大薬、[9]東大薬、[10]文京学院大保、[11]東京理大薬、[12]帝京平成大薬

Z047　2021 年度第 13 回薬学共用試験 OSCE の結果解析

○田村　豊[1,2]、有田　悦子[1,3]、石田　志朗[1,4]、入江　徹美[1,5]、岡村　昇[1,6]、小澤　孝一郎[1,7]、木内　祐二[1,8]、向後　麻里[1,9]、富岡　佳久[1,10]、中嶋　幹郎[1,11]、野田　幸裕[1,12]、橋詰　勉[1,13]、松下　良[1,14]、松元　一明[1,15]、吉冨　博則[1,2]、渡邊　真知子[1,16]、木津　純子[1]、奥　直人[1,16]
[1]薬学共用試験セ、[2]福山大薬、[3]北里大薬、[4]徳島文理大薬、[5]熊本大薬、[6]武庫川女大薬、

[7]広島大薬、[8]昭和大医、[9]昭和大薬、[10]東北大薬、[11]長崎大薬、[12]名城大薬、[13]京都薬大、[14]金沢大薬、[15]慶應大薬、[16]帝京大薬

連携教育①/その他　　Z 会場　Room5

座長：木内　祐二（昭和大学医学部）

Z048　**COVID-19 ワクチン調製支援業務を通じた薬薬連携の推進と調製支援業務に携わった薬剤師の心理状態に影響する因子の探索**

○矢原　恵美[1]、琢磨　寛孝[2,3]、日野　真紀[2]、加地　由美子[2]、久保　敏史[2]、高瀬　梓[2]、樋口　淳一[2]、木下　淳[1]

[1]兵庫医科大学・薬学部、[2]川西市薬剤師会、[3]宝塚市薬剤師会

Z049　**名古屋市立大学医学部附属 3 病院合同勉強会の試み —薬剤師の感染症診療支援のレベルアップに向けた症例検討—**

○日比　陽子[1,2]、早川　智章[1]、小林　紀香[1]、大橋　一輝[1]、和知野　千春[1]

[1]名古屋市立大学病院薬剤部、[2]名古屋市立大学医・臨床薬剤学

Z050　**地方創生を基盤とする持続可能な社会の創り手を育む ESD 教材の開発**

○堀松　星翔[1,2]、三浦　裕也[1]、水野　憲一[3]、大越　絵実加[3,4]

[1]国際医療福祉大学大学院薬学研究科、[2]株式会社丸大サクラヰ薬局、[3]青森大学薬学部、[4]青森大学 SDGs 研究センター

Z051　**コロナ禍における学部連携での地域医療実習 —体系的・段階的な在宅チーム医療教育の集大成として—**

○福村　基徳[1]、岸本　桂子[1]、木内　祐二[2]、三橋　幸聖[3]、田中　佐知子[1]、谷岡　利裕[1]、熊木　良太[1]、有馬　牧子[2]、剣持　幸代[4]、伊原　良明[5]、古屋　純一[5]、尾形　佑香[3]、髙　紋子[3]

[1]昭和大学薬、[2]昭和大学医、[3]昭和大学保健医療、[4]昭和大学富士吉田教育、[5]昭和大学歯

Z052　**Interdisciplinary Education for Life Science Graduate Students: Nurturing Future Leaders for Well-Being Society**

○Devkota Hari Prasad[1]

[1]熊本大・大学教育統括管理運営機構

Z053　**地域薬剤師との交流による中学生のキャリア発達能力の習得・育成効果の検証**

○多田　智美[1]、堀松　星翔[2]、水野　憲一[1]、大越　絵実加[1,3]

[1]青森大薬、[2]丸大サクラヰ薬局、[3]青森大 SDGs 研セ

事前実習・実務実習②　Z 会場　Room6

座長：高橋　一栄（大阪済生会野江病院）

Z054　**COVID-19 パンデミック下でのオンライン実務実習の導入と評価 —医薬品情報室実習における Teams の活用—**

○吉田　浩美[1]、石渡　泰芳[1]、永田　将司[1]、髙橋　弘充[1]

[1]東京医科歯科大学病院薬剤部

Z055　**実務実習におけるコロナ感染症禍の学校薬剤師実習への影響調査**

○長田　洋一[1]、岩澤　晴代[1]、下山　多映[1]、岩井　裕美[1]、野呂瀬　崇彦[1]、山本　秀樹[1]

[1]帝京大・薬

Z056　**薬樹株式会社における実務実習の取り組み —症例検討発表会を通じての実習生の学びについて—**

○久木﨑　和恵[1]、佐藤　光太[1]、山脇　幸乃[1]、成冨　清蔵[1]

[1]薬樹株式会社

Z057　**コロナ禍における薬局実習中の遠隔大学登校日の実施と効果**

○川上　美好[1]、園部　尭仁[1]、上田　祥貴[1]、吉山　友二[1]

[1]北里大学薬・地域医療薬学

Z058　**薬局実務実習における日誌の活用 ～リフレクションの継続、薬剤師としての考えを言葉で伝える**

○中村　由喜[1]、保坂　昌彦[1]、渡辺　香織[1]、内藤　貴夫[2]

[1]株式会社グッドメディカルあおぞら薬局富士見店、[2]株式会社グッドメディカル内藤薬局飯田店

Z059　**指導薬剤師のコーチングによる学生の主体的な深い学び —薬局実務実習における地域でのチーム医療の実践を通して—**

○山本　仁美[1]、小川　路代[2]、森田　蕗子[2]、岸本　桂子[1]、向後　麻里[1]

[1]昭和大学薬学部、[2]テトラ薬局新富町店

臨床系専門教育②/研究指導/その他　Z 会場　Room7

座長：長谷川　洋一（名城大学薬学部）

Z060　**薬学生対象の筋肉注射手技演習プログラムの構築と演習後のアンケート結果 —テキストマイニングを用いた自由記載の可視化への試み—**

○稲垣　孝行[1]、早川　伸樹[1]、榊原　有季子[1]、酒井　隆全[1]、伊東　亜紀雄[1]、黒野俊介[1]、大津　史子[1]、長谷川　洋一[1]

[1]名城大学薬学部

Z061　**大学における OTC 医薬品教育の現状 —新人薬剤師のアンケート調査の分析—**

○蝿田　稔[1]、円子　皓之[1]、加賀良　尚思[1]、山下　沙央梨[1]、野崎　篤志[1]、阿部　真也[2]、松井　洸[2]、今野　章之[1]、立石　大介[2]、吉町　昌子[2]、野村　和彦[2]

[1]株式会社ツルハ、[2]株式会社ツルハホールディングス

Z062　**災害薬事研修に参加した学生の災害薬学教育ニーズに関するアンケート調査**

○小林　靖奈[1]、和泉　邦彦[2]、高橋　昌[2]

[1]昭和大学薬学部教育企画・評価学部門、[2]新潟大学医学部災害医療教育センター

Z063　**スモールグループディスカッションを中心とした臨床研究の計画立案 ～4 年次「薬学研究入門」における臨床研究教育に関する新たな取組～**

○肥田　典子[1]、山崎　太義[1]、滝　伊織[1]

[1]昭和大学　薬学部臨床薬学講座　臨床研究開発学部門

Z064　**薬学部アドバンスト科目 TCTP (Toronto Clinical Training Program) —オンライン留学で学ぶカナダの小児病院における薬剤師の役割と薬学教育—**

○近藤　雪絵[1]、角本　幹夫[1]、服部　尚樹[1]

[1]立命館大学・薬学部

Z065　**オンライン授業の結果、平均 GPA が劇的に向上した原因と今後の薬学教育におけるオンライン授業の有効活用についての提言**

○石田　茂花[1]、岩堀　禎廣[2]

[1]みらい女子プロジェクト、[2]日本薬科大学

一般演題（口頭発表）③

＜発表日時＞　8月21日（日）　13:00～14:00
＜タイムスケジュール＞　1番目　13:00～13:15　　2番目　13:15～13:30
3番目　13:30～13:45　　4番目　13:45～14:00

ヒューマニティ教育②　Z会場　Room1

座長：石川　さと子（慶應義塾大学薬学部）

Z066　入学後早期のコミュニケーション演習の成果
○坂井　久美子[1]、西本　新[1]、百渓　江[1]
[1]山陽小野田市立山口東京理科大学　薬学部

Z067　バディシステムを用いたコミュニケーションワークによる薬学生の社会的スキル向上の効果検討
○中島　園美[1]、二宮　沙貴[2]
[1]神戸薬科大学・臨床心理学研究室、[2]近森病院薬剤部

Z068　患者の語り動画を利用した模擬医療面接による医療コミュニケーション教育の学習効果
○岩澤　晴代[1]、長田　洋一[1]、野呂瀬　崇彦[1]
[1]帝京大学薬・薬学教育推進センター

Z069　動画を用いて英語による服薬指導能力の向上を目指した演習への取り組み
○山下　純[1]、井上　裕文[1]、木平　孝高[1]、Jason　Lowes[2]
[1]福山大薬、[2]福山大大教セ

ICT教育③　Z会場　Room2

座長：田辺　光男（北里大学薬学部）

Z070　学習者1に対して教員3で構成されるオンデマンド型（3対1）授業の試み ―授業場面で経験する感情と使用する学習方略に関する調査・考察―
○児玉　典子[1]、藤波　綾[1]、竹内　敦子[1]
[1]神戸薬科大学・薬学教育

Z071　学習者1に対して教員3で構成されるオンデマンド型（3対1）授業の試み ―有用性および満足度に関する調査・考察―
○藤波　綾[1]、竹内　敦子[1]、児玉　典子[1]
[1]神戸薬科大学

Z072　バーチャルリアリティーによる調剤技術学習支援ソフトの開発 －第2報－
○髙尾　良洋[1]、小川　ゆかり[1]、小清水　治太[1]、田島　純一[1]、西牟田　章戸[1]、堀井剛史[1]、益戸　智香子[1]、湯浅　勝敏[1]、道脇　聡洋[2]、庭屋　英樹[2]、降矢　信[3]、日楽一世[3]、高橋　正仁[4]、三原　潔[1]

[1]武蔵野大学薬・臨床薬学センター、[2]株式会社　Qtnet、[3]NEC ネッツエスアイ株式会社、[4]NEC ソリューションイノベータ株式会社

Z073　**薬学の研究室活動におけるリスキリング -デジタル時代の人材育成-**

○小林　昌宏[1]、友田　吉則[1]、飯島　汰雅[1]、工藤　大樹[1]、横山　奈々[1]、小川　萌花[1]、相馬　朱里[1]、横尾　有紀[1]

[1]北里大学薬学部薬物動態学

学習者支援　Z 会場　Room3

座長：長光　亨（北里大学薬学部）

Z074　**実務実習を控えている本学部生６つの学年の意識調査 —禁煙外来に関する認知度、実習先敷地内全面禁煙に関する意識—**

○佐藤　亜希子[1]

[1]奥羽大学薬学部

Z075　**四年生の夏期講習会への取り組みの違いとその後の試験結果に関する調査 —2021 年度の取り組みから見えてきた傾向—**

○三反崎　聖[1]、渡辺　和樹[1]、本間　成佳[1]、森　哲哉[1]

[1]高崎健康福祉大学薬・薬学学修支援センター

Z076　**個人カルテを用いた個別化学習支援の実践と効果**

○飯村　菜穂子[1]、川村　暢幸[1]、島倉　宏典[1]、笹木　睦子[1]、関川　由美[1]

[1]新潟薬大・薬学教育センター

Z077　**臨床検査技師課程履修者への学生支援の試み**

○喜来　望[1]

[1]北里大学・薬学部

連携教育②　Z 会場　Room4

座長：木内　祐二（昭和大学医学部）

Z078　**チーム医療の実践に向けた低学年向けチュートリアル演習の構築**

○寺島　朝子[1]、佐野　和美[1]、加藤　裕久[1]、定本　清美[1]、塩田　清二[1]、若山　恵[1]、古屋　博行[2]、山崎　泰広[1]、市丸　嘉[1]、加藤　紘一[1]、進藤　綾大[1]、須藤　遥[1]、殿山　泰弘[1]、石橋　芳雄[1]、加賀谷　肇[1]、鈴木　勉[1]

[1]湘南医療大学薬学部、[2]東海大学医学部

Z079　**倫理・プロフェッショナリズムをテーマにした多職種連携授業の実践 ーWeb 会議システムを用いたディベートの試みー**

○高橋　瑞穂[1]、中田　亜希子[2]

[1]東邦大学薬・社会薬学研究室、[2]東邦大学医・医学教育センター

Z080　COVID-19 流行下における 2 大学･3 学科合同での完全オンライン多職種連携教育（IPE）

○三田　充男[1]、佐藤　全伯[2]、兎川　忠靖[1]、花田　和彦[1]、安　武夫[1]、山﨑　紀子[1]、栗原　勲[2]、中村　昌子[3]、石塚　俊晶[2]、西岡　笑子[3]、小林　靖[2]、越前　宏俊[1]

[1]明治薬科大学・薬、[2]防衛医科大学校・医、[3]防衛医科大学校・看護

Z081　チーム医療に貢献する臨床薬剤師養成に関する取り組み

○城野　博史[1,2]、湯之前　清和[3]、大浦　華代子[2]、猿渡　淳二[2]、入江　徹美[2]

[1]熊本大学病院薬剤部、[2]熊本大学大学院薬学教育部、[3]メディポリス医学研究所

事前実習・実務実習③　Z 会場　Room5

座長：伊藤　忠明（虎の門病院薬剤部）

Z082　診療所・薬局連携体験実習による処方計画のシャドーイング体験

○羽野　卓三[1]、秋月　麻友子[2]、土井　光則[2]、岩城　久弥[3]、崎山　晃彦[3]、松原　和夫[2,4]、太田　茂[4]

[1]和歌山県立医科大学サテライト診療所本町、[2]和歌山県立医科大学附属病院薬剤部、[3]和歌山県薬剤師会営薬局、[4]和歌山県立医科大学薬学部

Z083　大阪市北区で実施するオンライン病院・薬局合同実務実習発表会の概要と考察

○萱野　勇一郎[1]、松元　一隆[2]、豊濱　隆[3]、尾上　雅英[4]、井上　薫[5]、武居　智英子[6]、坂東　俊完[6]

[1]大阪府済生会中津病院薬剤部、[2]桜橋渡辺病院薬剤科、[3]住友病院薬剤部、[4]北野病院薬剤部、[5]大阪医科薬科大学薬学部、[6]大阪市北区薬剤師会

Z084　2020 年度実務実習連携ツールの量的、質的解析結果から見えた就実大学の学生が実施できた実務実習内容の調査

○河野　奨[1]、出石恭久[1]、吉井圭佑[1]、田坂祐一[1]、加地弘明[1]、毎熊隆誉[1]、名和秀起[1]、北村佳久[1]、島田憲一[1]、本江　誠[2]、西依 貴施[2]、兒山智治[2]、伊達元英[2]

[1]就実大学薬学部臨床薬学教育研究センター、[2]一般社団法人岡山県薬剤師会薬局実習委員会

Z085　実務実習での評価と事前学習の成績に関連はあるか？

○黒野　俊介[1]、稲垣　孝行[1]、伊東　亜紀雄[1]、守屋　友加[1]、長谷川　洋一[1]

[1]名城大薬・臨床薬学教育・研究推進センター 実践薬学 I

カリキュラム構築/教育評価②/その他　Z 会場　Room6

座長：武田　香陽子（北海道科学大学薬学部）

Z086　カリキュラム編成に向けた学生アンケート結果解析

○波多野　紀行[1]、浦野　公彦[1]、武田　良文[1]

[1]愛知学院大学薬学部

Z087　ルーブリック評価支援アプリケーションの開発 —ルーブリック表の作成・登録・評価・結果一覧—

○初田　泰敏[1]、佐古　寅泰[1]、面谷　幸子[1]、名徳　倫明[1]、江﨑　誠治[1]
[1]大阪大谷大学薬学部

Z088　長期型ルーブリックの自己評価を用いた学生の学びへの学習プログラムの効果評価 —2020 年度・2021 年度卒業生の比較—

○小島　裕[1]、秋元　祐佳里[2]、髙橋　直仁[1]、岡﨑　真理[1]、夏目　秀視[1]、関　俊暢[1]
[1]城西大薬、[2]日本赤十字社医療センター薬剤部

Z089　雇用者から見た薬剤師養成教育の評価 ー全国アンケートによる旧 4 年制課程と 6 年制課程との比較ー

○小林　文[1]、加藤　里奈[1]、山本　仁美[1]、亀井　大輔[1]、田中　佐知子[1]
[1]昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門

卒後教育②　Z 会場　Room7

座長：飯塚　敏美（望星築地薬局）

Z090　クオールグループ薬局事業会社における 1 年目薬剤師を対象とした教育研修プログラムの効果報告

○板垣　幸太郎[1]、中村　郁代[1]、藤田　聡[1]、猪股　宣明[1]、髙橋　渉[1]、小柳　悟[1]、佐藤　美弥子[1]、島貫　英二[1]、長沼　未加[1]
[1]クオール株式会社・クオールアカデミー・教育研修本部

Z091　大阪大学医学部附属病院における地域薬学ケア専門薬剤師研修の受け入れ報告 (1) —1 年目の研修を終えて—

○前田　真一郎[1,2]、正岡　麻里[3]、山本　智也[1]、奥田　真弘[1]
[1]大阪大学医学部附属病院・薬剤部、[2]大阪大学大学院薬学研究科・臨床薬理学分野、[3]日本調剤・阪大前薬局

Z092　薬剤師の「問題抽出・解決能力」に影響する背景・要因の分析 ～学会発表経験の有無をサロゲート指標として～

○渡邉　慶剛[1]、酒井　隆全[2]、大津　史子[2]
[1]名城大学大学院薬学研究科、[2]名城大学薬学部医薬品情報学研究室

Z093　臨床薬剤師ルーブリックにおける習熟度に応じた階層の設定とその分析 —卒後教育におけるパフォーマンスレベルの深さの評価—

○土屋　裕伴[1]、新井　亘[1]、増田　裕一[2]
[1]AMG 上尾中央総合病院 薬剤部、[2]上尾中央医科グループ協議会 薬剤部

８．閉会式

８月 21 日（日）　16:30～17:00

学生発表の優秀発表賞表彰（第 7 回日本薬学教育学会大会大会長）

総括（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

次期大会長挨拶（第 8 回日本薬学教育学会大会大会長）

閉会の辞（北里大学薬学部学部長）